

問題解決の技法入門

システムシンキング、ロジカルシンキング、デザインシンキング、
社会調査、コミュニケーション

目的（習得できる知識、能力、態度）

複雑な問題を自己流で考えるのではなく、広い視野で全体を俯瞰して（システムシンキング）、論理的に分析し（ロジカルシンキング）、エビデンスに基づいて（社会調査）、多様な関係者と協働しつつ（コミュニケーション）、創造的に解決する（デザインシンキング）ための技法を俯瞰し、実践的に身につける。

時間 3時間

場所 実施者が用意する会議室

対象 複雑な問題の解決に取り組んでいる人

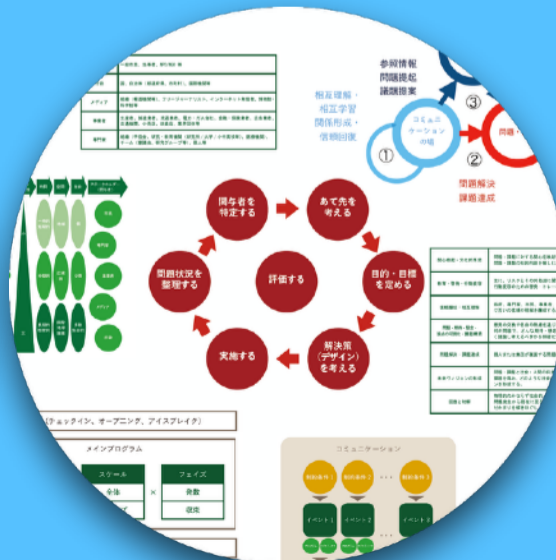
教材 オリジナル教材、参考図書『政策科学入門』、『ホリスティック・クリエイティブ・マネジメント』

定員 30人程度

費用 30万円（税別）～



講師



オリジナル教材



グループワーク

講師名（所属、肩書き、プロフィール）

田原敬一郎（科学コミュニケーション研究所 共同代表）

1976年宮崎県高原町生まれ。科学技術が関わる問題などを対象に、評価の仕組みづくりや市民参加による問題解決・対話を支援。専門は政策科学、意思決定システム科学。東京大学大学院客員准教授、内閣府総合科学技術・イノベーション会議評価専門調査会WG委員等を歴任。（公財）未来工学研究所主任研究員を兼務。

プログラム概要

講義（60分） システムシンキング、ロジカルシンキング、デザインシンキング、社会調査法、コミュニケーションの基本的知識をオリジナルテキストでコンパクトに学ぶ。

グループワーク（90分） 少人数のグループに分かれ、講義で学んだ技法を使って、日ごろ取り組んでいる問題を再定義し、創造的な解決方法を考える。

共有・講評（30分） グループワークの成果を全体で共有し、研修で得たことを振り返りながら、すぐに役立つ実践のポイントを学ぶ。

実施実績

高原町職員研修（2018）、（国研）科学技術振興機構プログラム・マネージャー研修（2016～）、文部科学省リサーチ・アドミニストレーター研修（2014）、環境省自治体職員及び地域コーディネーター研修（2012・13）ほか多数。

講師からのメッセージ

政策科学の格言に従うと、問題を正しく定義できれば、半分は解決できたようなものです。しかし、経験と勘だけで、正しい問題定義を行うことは困難です。この講座で、問題定義と解決のために必要な技法を俯瞰し、対話を通じて実践的に身につけましょう。手も足も出ないと思い込んでいた問題が、きっと違って見えるようになります。